

退職給付会計

1. 採用している退職給付制度の概要

当金庫は、退職給付制度として確定給付型企业年金制度を採用しております。

また、これとは別に総合設立型の基金である全国信用金庫厚生年金基金に加入しております。

2. 退職給付債務に関する事項

(単位：千円)

区 分	金 額	
	2017年度	2018年度
退職給付債務 (A)	1,668,123	1,530,000
年金資産 (B)	1,653,185	1,541,994
前払年金費用 (C)	—	—
未認識過去勤務費用 (D)	△36,427	△19,632
未認識数理計算上の差異 (E)	△66,536	△27,801
その他 (会計基準変更時差異の未処理額) (F)	—	—
退職給付引当金 (A - B - C - D - E - F)	117,901	35,440

3. 退職給付費用に関する事項

(単位：千円)

区 分	金 額	
	2017年度	2018年度
勤務費用 (A)	176,875	168,451
利息費用 (B)	12,744	11,643
期待運用収益 (C)	△31,143	△30,583
過去勤務費用の費用処理額 (D)	△16,794	△16,794
数理計算上の差異の費用処理額 (E)	52,071	8,576
会計基準変更時差異の費用処理額 (F)	—	—
その他 (臨時に支払った割増退職金等) (G)	—	—
退職給付費用 (A + B + C + D + E + F + G)	193,754	141,294

4. 退職給付債務の計算の基礎に関する事項

区 分	摘 要	
	2017年度	2018年度
(1) 割引率	0.69%	0.69%
(2) 長期期待運用収益率	1.85%	1.85%
(3) 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準	
(4) 過去勤務費用の額の処理年数	10年(発生年度の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法による)	
(5) 数理計算上の差異の処理年数	10年(発生年度の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理する)	
(6) 会計基準変更時差異の処理年数	一年	